

新・杉並公会堂が6月1日(木)にオープン



外観

2階から上の外壁は「アンビエント・フィルター」といわれる柔らかな半透明の皮膜で覆われたガラスを使用し、周辺との調和を大切にしました構造となっています。
建物内部から外が見えない配慮をしており、夜になると外部にもれる優しい光は内部の動きを影絵のように映し出します。

新しい杉並の 文化の殿堂が完成しました

昭和32年に開設し、長年区民の皆さんに愛されてきた杉並公会堂は、老朽化のため、15年度から改築を進めてきました。区民の皆さんが優れた文化や芸術に出会うための文化の拠点として、公会堂が生まれ変わります。旧公会堂の素晴らしい伝統を受け継ぎ、「杉並区民のための公会堂」を目指します。

杉並公会堂

〒167 0043 上荻1 23 15 ☎3220 0401
http://www.suginamikoukaidou.com/

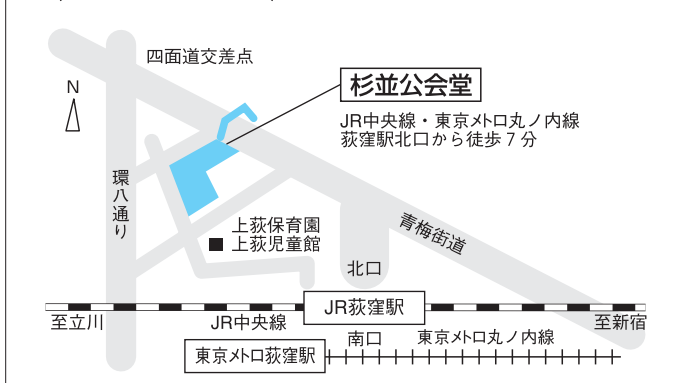
利用申し込み・問い合わせ

杉並公会堂管理事務室

営業時間 = 月～金曜日午前9時～午後7時 /
土曜日午前9時～午後5時

休業日 = 5月31日までは日曜日・祝日 / 6月以降は年中無休(臨時休館による休業の場合あり)

〈公会堂案内図〉



事業主 PFI 杉並公会堂(株)
運営会社 (株)京王設備サービス

広いラウンジは、カフェとショップを利用する方がくつろぎ、楽しみ、憩える空間です。だれもが立ち寄りてみたいくなるような、街のにぎわいとハーモニーを演出します。

ハーモニープラザ(1階)



施設内部の紹介は2～3面へ

▶ 区役所いつでも電話サービス ☎ #8800 ◀

歩きながら、元氣と文化が、すぎなみ
生まれる街。



平士間状態 (215 m) をベースとしており、演劇、演奏会、音楽発表会や講演会、パーティーなど多目的な利用が可能です。客席は段床形式 (客席数 194 席) に切り替えることで、容易に劇場用の空間に変更できます。



大ホールの舞台と同じ規模の大きなスペースです (245 m)。オーケストラのリハーサルをはじめ、発表会などが行える広さと設備を備えています。

文化の拠点として さらに愛される杉並公会堂に

杉並の音楽文化のシンボル

全国有数の音響効果を備えた大ホールで、内外の著名なオーケストラや演奏家によるコンサートを楽しめます。また、クラシックのみならず、さまざまな分野の音楽の鑑賞機会を設けます。

区民の文化・芸術活動の支援

区民の皆さんが練習や創作、発表などができる場を提供します。大ホールのほか、さまざまな目的に活用できる小ホール、オーケストラのリハーサルなどに最適なグランサロン、音楽などの練習に対応できる大小 5 つのスタジオを用意しています。また、文化・芸術活動に必要な情報の発信を行います。

利用サービスの向上

公共ホールとしては全国初の PFI 事業 () により、民間事業者の運営ノウハウなどを活かし、利用者の立場に立った各種サービスの向上を図ります。

PFI 事業 = 民間の資金や技術を使って公共施設などを建設・運営する事業。



シューボックス型 () のホール形状を採用し、本格的なクラシックコンサートが行える高品質なホールです。大編成の演奏会はもとより、集会や式典・講演会など様々なイベントにも利用できます (客席数 1190 席)。

シューボックス型 = 「靴箱 (シューボックス) 」 のように長方形のホールで、音の響きの良さが大きな特徴です。

スタジオ



スタジオ A

1 階ハーモニープラザに面し、芸術と区民とのかかわりをより高める施設として、合唱練習やアンサンブルなどのクラシック音楽の練習に最適です。

【面積】46 m²
【収容人数】コーラスで 50 名
【常設備品】グランドピアノ

ロックやジャズなど 10 名程度のグループが十分なゆとりをもって利用できます。軽音楽の練習に最適です。
【面積】24 m²
【収容人数】バンドで 10 名
【常設備品】PA セット、ドラムセット、キーボード



スタジオ B



スタジオ C

コーラス、軽音楽、ダンスや演劇などの練習に使えるスタジオです。

【面積】32 m²
【収容人数】コーラスで 30 名
【常設備品】グランドピアノ

小ホールの舞台と同規模の広いスペースが特徴です。演劇、バレエ、舞踊レッスンやアンサンブルなどの練習に適しています。
【面積】58 m²
【収容人数】ダンスレッスンで 20 名
【常設備品】簡易 PA 装置、レッスンバー、鏡など



スタジオ D



スタジオ E

ロック、ジャズなどのバンド練習に最適です。
【面積】15 m²
【収容人数】バンドで 5 ~ 6 名
【常設備品】PA セット、ドラムセット、キーボード

ご利用について

費用などの詳細は杉並公会堂管理事務局 (1 面参照) へお問い合わせください。「ご利用案内」をお送りします。

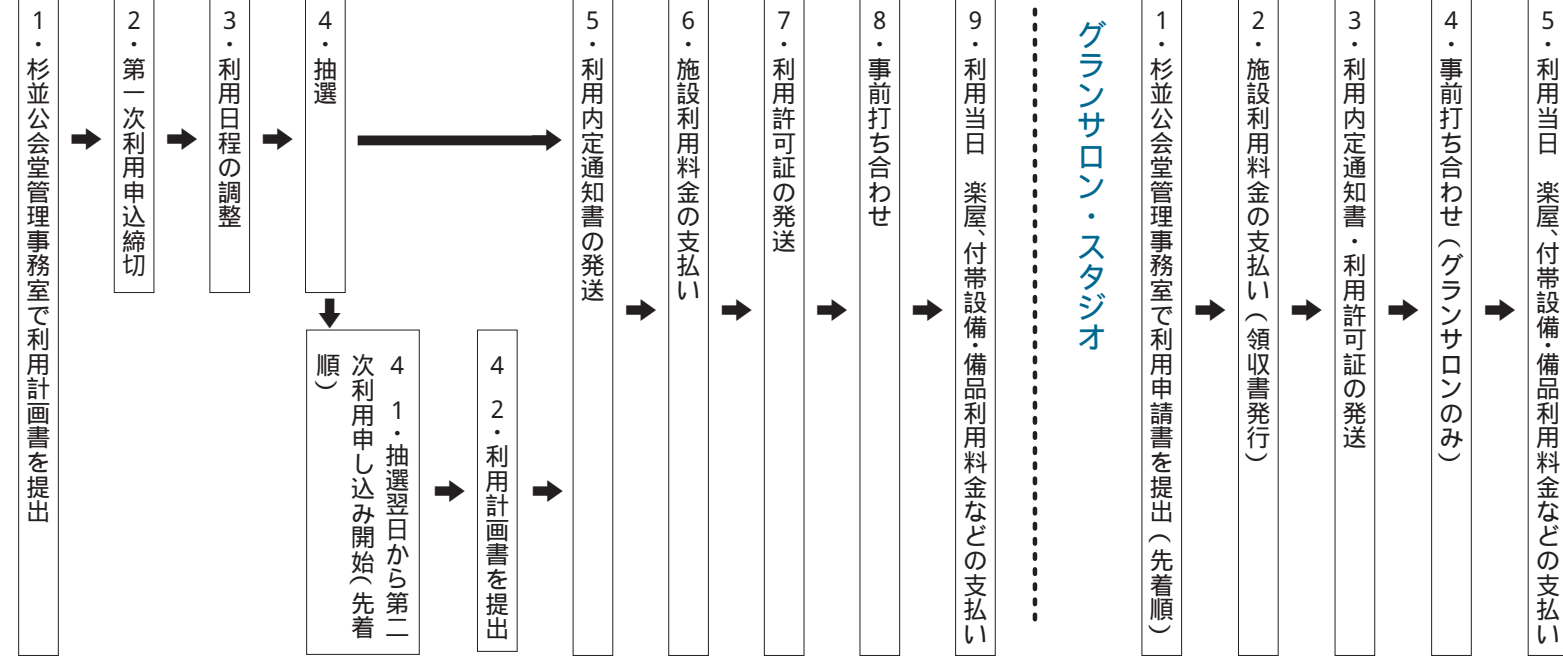
【利用可能日】年中無休。ただし、設備の保守点検などにより臨時休館する場合があります。

【利用時間など】下表のとおり

利用施設名	利用単位	利用時間	利用区分
大ホール 小ホール	区分時間	午前 9 時 ~ 正午	区分のいずれか、または複数区分を連続して利用できます
		午後 1 時 ~ 5 時	
		夜間 6 時 ~ 10 時	
全日利用	午前 9 時 ~ 午後 10 時		
グランサロン スタジオ (A ~ E)	時間利用	午前 9 時 ~ 午後 10 時	2 時間以上から 1 時間単位で利用できます
		全日利用	

【利用申し込みのながれ】

大ホール・小ホール



サポートメニューを用意しています

次のサポートメニューが利用できます (有料)。詳細は杉並公会堂管理事務局 ☎ 3220 0401 へお問い合わせください。

- 舞台・音響・照明・映像などのオペレーター、受付もぎり、客席案内など運営スタッフの手配
- 公演などの前売券の販売および「チケットぴあ」へのあっせん
- 公演時などの託児サービス
- 舞台用看板、告知用看板、生花、弁当など、催事に必要な物品の手配



新・杉並公会堂の開館を祝って —文化関係者からのメッセージ—



◀区民が集えるカフェもあります



杉並区と友好提携を結んでいる日本フィルハーモニー交響楽団の音楽監督

指揮者
小林 研一郎さん



新ホールに寄せて…

まばゆいばかりに完成したホールに体が震えた。その柔かな響き。心に染み入る音たちの輝き。日本フィルが50年かかってやっとたぐり寄せることができた幸せ。表現することももどかしい程の感動で体内を火花が走った。大きなお心で日本フィルを支えてくださっている杉並区の皆様、関係者の方々に心からの感謝を申し上げ、私達は皆様に最高の音楽でお応えすることを約束させていただきます。本当にありがとうございました。



旧公会堂「さよならフェスティバル」に出演 **詩人・作家** ねじめ 正一さん

愛される公会堂に

杉並公会堂のリニューアル・オープン、誠にありがとうございます。旧杉並公会堂は、私にとっても我が家の子どもたちにとっても、小学校、中学校を通して、合唱コンクールやさまざまな式典など、親子二代の思い出のある場所でした。しかし、公会堂も時代の流れと共に変化していかなければなりません。新たに生まれ変わったことで、杉並のみならず、その役割を大きく広げ、文化・芸術の発信・交流の場として、多くの皆さんに愛されることを願ってやみません。

開館記念の催し



野坂 昭如



天満 敦子

第五〇回杉並文化フォーラム
杉並公会堂落成記念チャリティ演奏会
もう一度歌おう 天満敦子 小林亜星を弾く

時 6月1日(木)午後6時30分
(5時30分開場・区共催) 場 杉並公会堂大ホール 出演 野坂昭如(作詩)、檀ふみ(朗読)、小林亜星(作曲)、天満敦子(バイオリン)、永六輔(語り)、上野正博(指揮)、東京ニューフィルハーモニック管弦楽団(定員九〇席(全席指定) 費 A席五〇〇〇円、B席四〇〇〇円 円席の種別、人数分の料金と電話番号を明記して住所・氏名を書いた返信用封筒(八〇円切手をは



檀 ふみ



永 六輔

区民三〇名を無料招待
(往復復八ガキ(広報すぎなみ通常号5面記入例参照)で、4月18日(必着)までに社会教育センター(〒166 0011 梅里1-22-32)(へ(抽選) 同センター) ☎3317 6621

てください)を同封の上、NP
〇杉並文化村事務局(〒167 8560 天沼3 10 2)へ郵送
〇同事務局・渡辺 ☎3220 0021(水曜日定休)



谷川 賢作

杉並公会堂オープニング記念公演
「私たちのすぎなみ」 谷川俊太郎さん・賢作さんと纏る子どもたちの詩と歌と映像
(時)5月14日(日)午後4時〜4時45分(3時40分開場) 内出演 谷川俊太郎(朗読)、谷川賢作(ピアノ演奏) 区内在住・在学



作曲家
小林 亜星さん

おめでとうございます
この度は3年の歳月をかけて区民の文化の殿堂になるべく新杉並公会堂が落成し、誠にありがとうございます。この記念すべき6月1日のこけら落としに、杉並文化フォーラム50回記念チャリティコンサートを催す機会を与えてくださった、区長始め関係者各位の皆様、文化村を代表して深く感謝申し上げます。この日のために、杉並文化村前村長野坂昭如が、病に倒れて3年の沈黙を破り、平和を願う渾身(こんしん)の詩作「もう一度歌おう」を書き下ろしてくれました。この詩に堀ノ内在住の私が音楽を書き、私の後輩檀ふみがこれを朗読し、本天沼が実家の、あの「望郷のバラード」の天満敦子が、東京ニューフィルと共にこれを演奏します。野坂の友人永六輔も駆けつけてくれます。まさに杉並区民による、杉並区民のための、そして杉並から発信する催しになると信じております。どうぞいらっしやってください。6月1日、皆様にお目に掛かるのを楽しみにしております。



詩人
谷川 俊太郎さん

舞台の側から
オープニング記念祝典に客席ではなく、舞台の側から参加する機会を与えられたおかげで、新しい杉並公会堂が大変身近なものになりました。これからは区民の皆さんも、公会堂の客席に座るだけでなく、舞台とそのほかの施設を自分たちのものと考えて、さまざまなアイデアで活用してくれるといいなあと思います。ハードが完成したことをお祝いするとともに、ソフトへの期待をこめて。

の児童・生徒(朗読)、杉並学院高等学校合唱部 演出 保科耕一(テアトル・エコー) 定三〇〇名(予定) 費 無料(往復八ガキ(広報すぎなみ通常号5面記入例参照)で、4月25日(必着)までに杉並公会堂管理事務局(1面参照)へ(抽選) 杉並公会堂オープニングハウス 杉並公会堂を一日開放します。ふだんは入れないホールの裏側や楽屋などを見学できます。また、太鼓やもちつき、「すぎなみ地域大学」の開校記念講演会なども開催します。
(時)5月28日(日)午前10時〜午後4時(当日、直接会場へ)
〇杉並公会堂管理事務局 ☎347 4450(催し専用電話)